

平成23年11月24日

お知らせ

資料提供 三次記者クラブ

しもほんたに
尾道松江線の下本谷トンネル(仮称)の掘削に着手します
～広島県内で最後のトンネル掘削に着手～

国土交通省三次河川国道事務所が建設を進めている中国横断自動車道尾道松江線のうち、下本谷トンネル(仮称)[全長394m]について、11月28日から掘削工事に着手します。

本トンネルは、平成24年4月頃に貫通する予定で、その後トンネル内の覆工等の作業を進め、平成24年9月末迄には工事を完了させる予定です。

下本谷トンネル : 庄原市口和町^{たけちだに}竹地谷地内
トンネル延長L=394m
施 工 業 者 : 東急建設株式会社
(尾道・松江自動車道 下本谷トンネル工事)

●問合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所
副所長(道路担当) ^{しんたく}新宅 ^{きよと}清人
【担 当】調査設計課長 ^{かげやま}景山 ^{ひろたか}浩孝
【広報担当】建設専門官 ^{なかい}中井 ^{きみお}喜美男
TEL:(0824)63-4121(代表)

中国横断自動車道尾道松江線

道-5

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

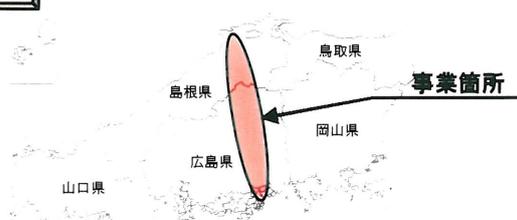
●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

部分完成

中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に三次市を経由し、松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。

平成24年度は三次JCT・IC(仮称)～吉田掛合IC(仮称)間(延長48.7km)の改良、橋梁、舗装、トンネル、トンネル設備工事を推進し、平成24年度内の供用を目指すと共に、世羅IC～三次JCT・IC(仮称)間の改良、橋梁工事を推進し、平成26年度までに全線供用を目指します。

位置図

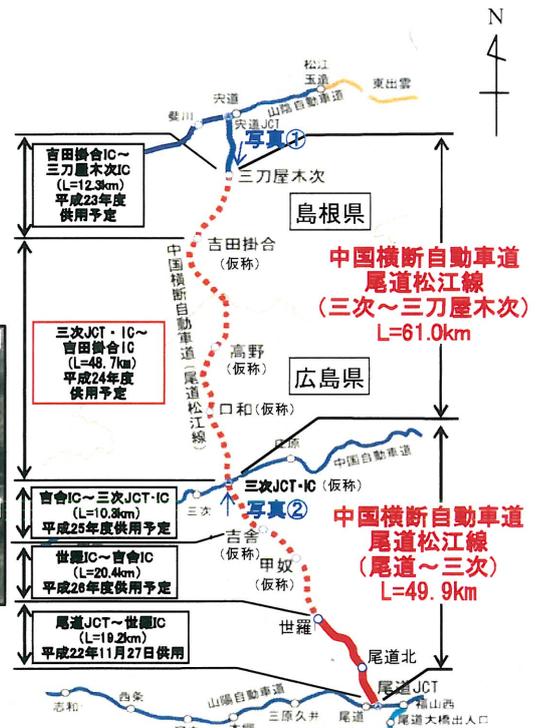


進捗状況写真



吉田掛合IC～三刀屋木次IC間(三刀屋木次IC付近)

三次JCT・IC～口和IC間(三次JCT・IC付近)



期待される整備効果

●主要都市間の所要時間短縮及びリダンダンシーの確保
尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流及び人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。



※所要時間は、下記の条件により算出
整備前：H17道路交通センサスの混雑時旅行速度
現況：尾道JCT～世羅IC間はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度
整備後：尾道松江線はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度

●観光の支援(日帰り圏の拡大)
尾道松江線の整備により、松江市からの3時間圏(日帰り圏)が拡大されます。また、観光地間が時間短縮することにより、新たな観光ルートの開発や観光産業等による地域の活性化が期待されます。



※時間圏域は、左記と同様に算出
資料：広島県、島根県、境港市観光動態調査結果(H22)
東京発バックツアーの動線は、H18.10以降に東京から中国地方を主催する添乗員同行の20ツアー(大手4社)を対象として集計。